

ながはま 0次コホート健診を受診された皆さんへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けています以下医学研究を実施しております、オミックスデータ解析の対象被検者としてながはま 0次コホート健診を受診された方のオミックスデータ（ゲノムデータ及び代謝物データ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方でオミックスデータを下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身のオミックスデータが本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	IgG4 関連疾患のステロイド投与における免疫応答に関する網羅的オミックス解析（G0528）
研究の目的	ゲノム網羅的な解析および末梢血の代謝物や転写物の網羅的解析から、IgG4 関連疾患のステロイド投与における免疫応答の解明を目指す。
当大学研究責任者	医学研究科医学専攻内科学講座消化器内科学教授 妹尾 浩
共同研究機関及び各機関の研究責任者	• 神戸大学大学院医学研究科内科学教授 児玉裕三
研究期間	2030 年 11 月 30 日まで（予定）
利用又は提供を開始する予定期日	当院の研究実施許可日
利用する試料・情報の項目	• DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報 • 血清・血漿検体を解析して得られたプロテオームデータ
試料・情報の利用目的・方法	IgG4 関連疾患を発症してステロイド治療を受けている被検者のオミックス情報と発症していない健常者（ながはま 0次コホート健診受診者）のオミックス情報を比較解析することにより疾患に関連する可能性のある遺伝子変異やバイオマーカーを特定する。
他の研究機関への試料・情報の提供	なし
試料・情報管理責任者	• 大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 • 共同研究機関については上記の機関の研究責任者
研究資金及び利益相反	京都大学では公的機関だけでなく一般の企業や財団からも研究資金等の提供を受けて臨床研究を実施している。また、本学では社会貢献活動の一環として兼業等の活動が認められており、臨床研究に關係する企業・財団との間に個人的な利害關係が生じている研究者もいる。本研究は京都大学の運営費交付金により実施し、研究の企画、運営、解析、論文執筆への大学の関与はない。 本研究の実施にあたり、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査を行なっている。

問い合わせ・苦情等の連絡窓
口（右記のいずれかにご連絡
ください）

- 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
電話 : 075-751-4157
- 京都大学医学部附属病院 相談支援センター
電話 : 075-751-4748
E-Mail : 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

ながはま健康づくり 0 次クラブ会員で「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、オミックスデータ解析の対象被検者としてながはま健康づくり 0 次クラブ会員で「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究にご参加いただいた方のオミックスデータ（ゲノムデータ及び代謝物データ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方でオミックスデータを下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身のオミックスデータが本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	IgG4 関連疾患のステロイド投与における免疫応答に関する網羅的オミックス解析（G0528）
研究の目的	ゲノム網羅的な解析および末梢血の代謝物や転写物の網羅的解析から、IgG4 関連疾患のステロイド投与における免疫応答の解明を目指す。
当大学研究責任者	医学研究科医学専攻内科学講座消化器内科学教授 妹尾 浩
共同研究機関及び各機関の研究責任者	・神戸大学大学院医学研究科内科学教授 児玉裕三
研究期間	2030 年 11 月 30 日まで（予定）
利用又は提供を開始する予定期日	当院の研究実施許可日
利用する試料・情報の項目	・DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報 ・血清・血漿検体を解析して得られたプロテオームデータ
試料・情報の利用目的・方法	IgG4 関連疾患を発症してステロイド治療を受けている被検者のオミックス情報と発症していない健常者（「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究参加者）のオミックス情報を比較解析することにより、疾患に関連する可能性のある遺伝子変異やバイオマーカーを特定する。
他の研究機関への試料・情報の提供	なし
試料・情報管理責任者	・大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 ・共同研究機関については上記の機関の研究責任者

研究資金及び利益相反	<p>京都大学では公的機関だけでなく一般の企業や財団からも研究資金等の提供を受けて臨床研究を実施している。また、本学では社会貢献活動の一環として兼業等の活動が認められており、臨床研究に關係する企業・財団との間に個人的な利害関係が生じている研究者もいる。本研究は京都大学の運営費交付金により実施し、研究の企画、運営、解析、論文執筆への大学の関与はない。</p> <p>本研究の実施にあたり、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査を行なっている。</p>
問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）	<ul style="list-style-type: none"> • 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 電話 : 075-751-4157 • 京都大学医学部附属病院 相談支援センター 電話 : 075-751-4748 E-Mail : 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp